

地域の人権文化づくり

泗水ブロックの活動

泗水ブロック協議会は泗水西、泗水、泗水東の3つの校区推進会議で組織されています。それぞれに共通して取り組んでいるものは教育講演会・人権の花づくりなどです。教育講演会は、児童や保護者、地域住民が日常にあるさまざまな人権問題について考える機会です。また、人権の花づくりは校区全体に呼びかけ、多くの参加者のもと、協力して花を育てることによって人々の交流の場となっています。

以下各校区の取り組みの様子を紹介します。

▼教育講演会と人権標語づくり

(泗水西校区推進会議)

昨年、ア・ラモート店主の新高志さんに講演をしていただきました。これまで自転車で乗り、県内を回りながらケーキの販売をされた中で、地域の人たちの温かさにつれた経験から「人を大切にすること」「自分自身を大切にすること」について語っていただきました。

今年の人権標語応募は全区全戸に呼びかけました。そして作品の中から優秀作品を選び、その標語をプラントナーに貼り付け、校区公民館などに配布しました。その中に新本さんから聞いた話「人を大切にしよう」という思いを入れた作品が数多く出展されました。子どもたちだけでなく、校区全体の人権意識を高める取り組みにつながっています。

▼地域とのふれあい学習

(泗水校区推進会議)

昨年11月、1年生から3年生までの児童と高齢者たちとのふれあいタイムを実施しました。竹馬乗り、あやとり、折り紙などの昔遊びを教えていただき、一緒に遊びました。地域の方々とふれ合うことにより、高齢者を敬うことにもつながりました。



「こうやって折るといいよ」

▼ハートフル委員会活動

(泗水東校区推進会議)

泗水東校区推進会議は校区の区長、民生児童委員、老人会会長、部落解放同盟泗水支部、学校運営協議会、PTA役員の60人で組織され、年間を通してさまざまな人権啓発推進活動を行っています。12月には、学校とPTAと一緒に「もちつき大会」を行いました。例年、たくさんの方々が地域の方々に協力をいただき、学校を核とした地域の交流の場となっています。さらに、本校のハートフル委員会が、サクラソウの苗を種から育て、児童と区長、民生児童委員と一緒に一人暮らしの高齢者宅に、苗の配布を行っています。サクラソウの配布を毎年楽しみにされている人も多くいらっしやいます。

このように各校区推進会議は小学校を核として取り組みを進めています。地域の人たちが集い、関わり合いながら、人権意識を養う機会となるよう、さらなる人権文化の創造に取り組んでいます。

問い合わせ先 人権啓発課
☎0968(25)7209

「はい!こちら菊池市消費生活センターです!」

問い合わせ先 菊池市消費生活センター ☎0968(36)9450
(月)～(金)午前10時～正午、午後1時～午後4時 福祉課

金融庁職員をかたりキャッシュカードをだまし取る詐欺!

菊池市内において、警察官を名乗って「あなたのカードが不正使用されている」と高齢者宅に電話をかけ、その後、金融庁職員をかたりた者が自宅を訪問。暗証番号などを聞き出した後、キャッシュカードをだまし取る事件が発生しています。金融庁職員が個人宅を訪問し、暗証番号などを聞いたり、カードを預かることはありません。このような場合には、

▼住所、氏名、年齢などの個人情報 報は教えない

▼相手の所属部署や氏名、連絡先を聞く

▼絶対に他人にキャッシュカードや暗証番号は教えない

おかしいと思ったら、一度帰ってもらい家族や警察などに相談するなどの対応を取りましょう。また、不審な電話を受けないために留守番電話機能を活用しましょう。

光電話・インターネット契約のしつこい勧誘電話に注意!

「固定電話が使えなくなる」「電

話代が安くなる」などと言葉たくみな話法で、不要な契約を結ばせる勧誘電話が後を絶ちません。大手通信事業者の代理店といつて連絡してきますが、大手事業者からと誤解して信用してしまうケースが多く見受けられます。電話で説明を受けても理解できない場合がありますので、一度電話を切り、誰かに相談して慎重に検討することが賢明です。

心配な場合には消費生活センターにご相談ください。

相談を受け付けています

消費生活センターでは、専門の相談員が常駐しています。相談は無料です。電話相談も受け付けています。詳しくはお問い合わせください。



お返事し
ね電話
も電話